

「第2次大阪府食育推進計画(平成24年3月策定)」 現状値及び平成27年度取組状況

目標項目		目標項目の詳細	策定時 (H23年度)	H26年度 ※()は参考値	現状値 (H27年度)	目標値 (H28年度)	H27年度の主な取組状況、今後の方向性等 (「下線あり」は新規取組)	関連施策、主なイベント ●:府事業、◎府と関係団体連携事業、○関係団体事業
府民一人ひとりが主体となっており取り組む目標	1	栄養バランス等に配慮した食生活を送っている府民の割合 第1次計画では、「何を」「どれだけ」食べたらよいかをわかりやすく示した「食事バランスガイド」等を参考に食生活を送っている府民の割合を、平成23年度までに60%となるよう、府民に働きかけてきました。 今後は、国から示される「食育ガイド」や「食事バランスガイド」、「日本人の食事摂取基準」など科学的根拠に基づいた指針等を活用し、栄養バランス等に配慮した食生活を送っている府民の割合を、平成28年度までに60%となるよう、府民に働きかけていきます。	15.0% ※H22年度「食育」に関するアンケート	(26.9%) ※H26年度「食育」に関するアンケート	26.3%(速報値) ※H27年度大阪版健康・栄養調査	60.0%	【主な取組状況】 ・おおさか食育フェスタ、食育推進キャンペーン等の各種イベントにおいて啓発。 ・主に働く世代を対象とする「食育ガイド」等を作成し、市町村、協会けんぽ等に配付。 【今後の方向性】 ・引き続きイベント等で啓発を行う。 ・平成27年度に作成する「食育ガイド(データ版)」を活用し、ホームページによる府民への周知や、協会けんぽ、商工会、商工会議所との連携による中小企業への周知を行う。 ・栄養バランス等に配慮した食生活を送っている府民の割合が策定時から11.3%しか上昇しておらず、28年度中の目標値達成は厳しい状況である。栄養バランスに関する知識はあるが実践できていないのか、又は知識がなく実践できていないのか、府民調査より原因を究明し対策を検討する。 ・府3次計画では目標指標を変更予定。(国3次計画の目標指標を参考予定)	●高校生・大学生の健康的な食習慣づくり重点化事業(No Vegetable No Life) ●食育情報総合サイト「おおさか食育通信」による情報提供 ●食生活改善推進員リーダー研修会 ●食育出前講座の実施(大阪府食生活改善連絡協議会に委託) ●食事バランスガイド等を活用した普及啓発(大阪府食生活改善連絡協議会に委託) ◎おおさか食育フェスタ2014 ◎野菜バリバリ朝食モリモリ元気っ子推進キャンペーン ◎野菜バリバリ朝食モリモリ元気っ子ポスターコンクール ◎ヘルシーメニュー人気コンテスト ◎ヘルシー外食フォーラム ●児童福祉施設関係者研修会 ○学校給食食育講演会(公益財団法人大阪府学校給食会)
	2	朝食欠食率 国民健康・栄養調査(国民栄養調査)では、子ども(7~14歳)の朝食欠食率は全国平均を下回っていますが、4.0%(平成14~16年・大阪市を除く)から5.3%(平成19~21年・大阪市を除く)に増加し、目標値の0%に達していませんため、今後も引き続き取組をすすめ、最終目標を0%とし、早期に第1次計画策定時の4.0%を下回るよう、府民に働きかけていきます。 また、高校生、大学生等が健全な食生活を実践できるよう、朝食摂取を推進します。	7~14歳	7~14歳	7~14歳	7~14歳	【主な取組状況】 ・朝食摂取・野菜摂取の啓発を目的に、主に小学生とその保護者を対象とした府内スーパーマーケットでの食育キャンペーン等各種イベントや、小学生を対象にポスターコンクールを実施。 【今後の方向性】 ・引き続きイベント等で啓発を行うとともに、教育委員会と連携を図り、府内小・中学校における啓発を検討する。	●高校生・大学生の健康的な食習慣づくり重点化事業(No Vegetable No Life) ●食育情報総合サイト「おおさか食育通信」による情報提供 ●食生活改善推進員リーダー研修会 ●食育出前講座の実施(大阪府食生活改善連絡協議会に委託) ◎食育ヤングリーダー育成支援事業 ●食育出前講座の実施(大阪府食生活改善連絡協議会に委託) ◎おおさか食育フェスタ2015(地域フェスタ) ◎野菜バリバリ朝食モリモリ元気っ子推進キャンペーン ◎野菜バリバリ朝食モリモリ元気っ子ポスターコンクール ◎「マジごはんbyOSAKA“ちゃんと食べよか〜”」推進プロジェクト食育ヤングリーダーフォーラム ◎ヘルシーメニュー人気コンテスト ◎ヘルシー外食フォーラム
			7.4% ※国民健康・栄養調査H19~21年平均値	9.8% ※国民健康・栄養調査H22~24年平均値	5.4% ※国民健康・栄養調査H24~26年平均値	4.0%未満(最終目標0%)		
			高校生・大学生	高校生・大学生	高校生・大学生	高校生・大学生	【主な取組状況】 ・各種イベントでの啓発や高校生・大学生の健康的な食習慣づくり重点化事業において指導。 【今後の方向性】 ・引き続きイベント等で啓発を行うとともに、教育委員会と連携を図り、府内高校における啓発を検討する。	
	3	野菜摂取量(1日) 国民健康・栄養調査(国民栄養調査)では、子ども(7~14歳)の野菜摂取量は210g(平成14~16年・大阪市を除く)から224g(平成19~21年・大阪市を除く)に増加していますが、目標値の300gに達していないため、今後も引き続き取組をすすめ、平成28年度までに300gとなるよう、府民に働きかけていきます。 また、高校生、大学生等が健全な食生活を実践できるよう、野菜摂取を推進します。	7~14歳	7~14歳	7~14歳	7~14歳	【主な取組状況】 ・朝食摂取・野菜摂取の啓発を目的に、主に小学生とその保護者を対象とした府内スーパーマーケットでの食育キャンペーン等各種イベントや、小学生を対象にポスターコンクールを実施。 【今後の方向性】 ・引き続き、イベントやポスターコンクールを通じて啓発を行うとともに、庁内関係部局及び関係団体と連携し、野菜摂取量の増加を目指す。 ・府3次計画では目標指標を変更予定。(国3次計画の目標指標を参考予定)	●高校生・大学生の健康的な食習慣づくり重点化事業(No Vegetable No Life) ●食育情報総合サイト「おおさか食育通信」による情報提供 ●食生活改善推進員リーダー研修会 ●食育出前講座の実施(大阪府食生活改善連絡協議会に委託) ●食育ヤングリーダー育成支援事業 ◎おおさか食育フェスタ2015(地域フェスタ) ◎野菜バリバリ朝食モリモリ元気っ子推進キャンペーン ◎野菜バリバリ朝食モリモリ元気っ子ポスターコンクール ◎「マジごはんbyOSAKA“ちゃんと食べよか〜”」推進プロジェクト食育ヤングリーダーフォーラム ◎ヘルシーメニュー人気コンテスト ◎ヘルシー外食フォーラム ●児童福祉施設関係者研修会 ○おおさか学校給食献立コンテスト(公益財団法人大阪府学校給食会)
			227g ※国民健康・栄養調査H19~21年平均値	205g ※国民健康・栄養調査H22~24年平均値	225g ※国民健康・栄養調査H24~26年平均値	300g		
			15~19歳	15~19歳	15~19歳	15~19歳	【主な取組状況】 ・各種イベントでの啓発や高校生・大学生の健康的な食習慣づくり重点化事業において指導。 【今後の方向性】 ・引き続きイベントや高校生・大学生を対象とする事業において啓発を行う。 ・府3次計画では目標指標を変更予定。(国3次計画の目標指標を参考予定)	
			253g ※国民健康・栄養調査H19~21年平均値	219g ※国民健康・栄養調査H22~24年平均値	213g ※国民健康・栄養調査H24~26年平均値	350g		
	4	朝食又は夕食を家族と一緒に食べる「共食」の回数 家族揃って食事をする機会が様々な要因で減少していますが、家族との「共食」は、望ましい食習慣の実践や、食の楽しさを実感させ精神的な豊かさをもたらすと考えられます。このため、仕事と生活の調和(ワークライフ・バランス)等の推進にも配慮しつつ、朝食又は夕食を家族と一緒に食べる「共食」の回数を、平成28年度までに週当たり10回となるよう、府民に働きかけていきます。	週9.1回 ※H24年度「食育」と「お口の健康」に関するアンケート	(週10.9回) ※H26年度「食育」に関するアンケート	週10.8回(速報値) ※H27年度大阪版健康・栄養調査	週10回	【主な取組状況】 ・おおさか食育フェスタ、食育推進キャンペーン等の各種イベントにおいて啓発。 【今後の方向性】 ・目標値は達成しているが、引き続き共食を通じた食育を推進を図る。 ・府3次計画においても、同指標を引き続き設定する。	●高校生・大学生の健康的な食習慣づくり重点化事業(No Vegetable No Life) ●食育出前講座の実施(大阪府食生活改善連絡協議会に委託) ◎おおさか食育フェスタ2015(地域フェスタ) ◎野菜バリバリ朝食モリモリ元気っ子推進キャンペーン

「第2次大阪府食育推進計画(平成24年3月策定)」 現状値及び平成27年度取組状況

目標項目		目標項目の詳細	策定時 (H23年度)	H26年度 ※()は参考値	現状値 (H27年度)	目標値 (H28年度)	H27年度の主な取組状況、今後の方向性等 (「下線あり」は新規取組)	関連施策、主なイベント ●:府事業、◎府と関係団体連携事業、○関係団体事業	
5	メタボリックシンドロームの予防や改善のための適切な食事、運動等を継続的に実践している府民の割合	生活習慣病を予防するには、運動習慣の徹底とともに食生活の改善が重要であることから、第1次計画では、メタボリックシンドロームの内容について知っている府民の割合(認知度)を、平成23年度までに80%とすることを目標とし、取組をすすめてきました。その結果、現状値は87%となり目標を達成しました。 今後は、メタボリックシンドロームの予防や改善のための適切な食事、定期的な運動、定期的な体重計測を継続的に実践している府民の割合を、平成28年度までに50%となるよう、府民に働きかけていきます。	29.5% ※H23-24年度「食育」と「お口の健康」に関するアンケート	(32.8%) ※H26年度「食育」に関するアンケート	(32.4%) ※H27年度「食育」に関するアンケート	50.0%	【主な取組状況】 ・高校生・大学生の健康的な食習慣づくり重点化事業として、高校生を対象に実践的な食育授業NoベジNoライフセミナーや高校生食育リーダー養成研修会を実施。また、大学生を対象に学生食堂を通じた栄養情報の発信、出前食育等を実施するとともに、食堂関係者等を対象に食育実践研修会を実施。 ・主に働く世代を対象とする「食育ガイド」等を作成し、市町村、協会けんぽ等に配付。 【今後の方向性】 ・平成27年度に作成する「食育ガイド(データ版)」を活用し、ホームページによる府民への周知や、協会けんぽ、商工会、商工会議所との連携による中小企業への周知を行う。 ・国3次計画と同様に、メタボに限定せず、生活習慣病予防や健康づくり等を目的として人の食生活の実践を推進する。	●高校生・大学生の健康的な食習慣づくり重点化事業(No Vegetable No Life) ●健康的なV. O. Sメニュー推進事業 ●食育情報総合サイト「おおさか食育通信」による情報提供 ◎おおさか食育フェスタ2015(地域フェスタ) ◎野菜バリアリ朝食モリモリ元気っ子推進キャンペーン ◎ヘルシーメニュー人気コンテスト ◎ヘルシー外食フォーラム	
	6	食育に関心を持っている府民の割合	食育を府民運動として取り組むためには、まず府民一人ひとりが食育に関心を持っていることが必要であることから、食育に関心を持っている府民の割合を、平成23年度までに95%となるよう、取組をすすめてきましたが、目標に達していないため、今後も引き続き取組をすすめ、平成28年度までに95%となるよう、施策を推進します。	89.0% ※H22年度大阪府食育に関するアンケート ※保護者等を対象とした調査	(93.0%) ※H26年度「食育」に関するアンケート	56.8%(速報値) ※H27年度大阪版健康・栄養調査	95%	【主な取組状況】 ・おおさか食育フェスタ、食育推進キャンペーン等の各種イベントにおいて啓発。 ・主に働く世代を対象とする「食育ガイド」等を作成し、市町村、協会けんぽ等に配付。 【今後の方向性】 ・策定時(H22年度)の調査対象者は、小学生・幼稚園等の保護者が多かったが、H27年度の調査対象者は半数以上が60歳以上であったため、関心を持っている人の割合が下がったと推測される。今後は、高齢者への啓発も合わせて行うことが必要である。 ・平成27年度に作成する「食育ガイド(データ版)」を活用し、ホームページによる府民への周知や、協会けんぽ、商工会、商工会議所との連携による中小企業への周知を行う。	●高校生・大学生の健康的な食習慣づくり重点化事業(No Vegetable No Life) ●食育情報総合サイト「おおさか食育通信」による情報提供 ●食生活改善推進員リーダー研修会 ●食育出前講座の実施(大阪府食生活改善連絡協議会に委託) ●食育ヤングリーダー育成支援事業 ◎おおさか食育フェスタ2015(地域フェスタ) ◎野菜バリアリ朝食モリモリ元気っ子推進キャンペーン ◎野菜バリアリ朝食モリモリ元気っ子ポスターコンクール ◎「マジゴはんbyOSAKA”ちゃんとお食べよか〜”」推進プロジェクト食育ヤングリーダーフォーラム ○出前パン作り教室(公益財団法人大阪府学校給食会) ○体験漁業(地曳き網体験)(公益財団法人大阪府漁業振興基金) ○食育推進共同事業(親子料理教室)(公益財団法人大阪府漁業振興基金) ●児童福祉施設関係者研修会
		7	よく噛んで味わって食べるなどの食べ方に関心のある府民の割合	府民が健やかで豊かな生活を過ごすためには、十分な口腔機能の発達、維持が必要であり、栄養のみならず、味わいや心のくつろぎにつながる食べ方に関心を持ってもらうことが重要です。このため、よく噛んで味わって食べるなどの食べ方に関心のある府民の割合を、平成28年度までに80%にすることを目標とします。	58.0% ※H24年度「食育」と「お口の健康」に関するアンケート	(85.0%) ※H27年度「食育」に関するアンケート	(83.8%) ※H27年度「食育」に関するアンケート	80.0%	【主な取組状況】 ・おおさか食育フェスタ、食育推進キャンペーン等の各種イベントにおいて啓発。 【今後の方向性】 ・食べ方の関心については、参考値が目標値を超えており、一定周知できたものと考えられる。 ・府3次計画では、国3次計画と同様に、実践している者の増加へ目標指標を変更予定。
8	食育推進に携わるボランティアの人数	食育推進に携わるボランティアは、食育の府民運動の重要な担い手であることから、その活動を積極的に支援するとともに、ボランティアの数を平成23年度までに4,100人にすることを目標とし、取組をすすめてきました。今後も引き続き取組をすすめ、食生活改善推進員及び市町村等において食育推進に携わるボランティアの人数を、平成28年度までに5,300人にすることを目標とします。	4,849人 (H22年度)	4,966人 (H26年度)	5,066人 (H27年度)	5,300人	【主な取組状況】 ・市町村会議などにおいて、ボランティア養成等の支援を実施。 【今後の方向性】 ・食育ボランティアが府民の食育を推進していく上で重要な担い手であることから、今後もボランティアの増加を図るとともに、その活動の支援を行っていく。 ・府3次計画においても、引き続き目標指標を設定予定。		
9	食の安全性に関する基礎的な知識の普及(リスクコミュニケーションの開催)	府民が安全・安心な食生活を実践するには、氾濫する食品に関する情報の中から正しい情報を選択する力を身に付ける必要があることから、府民向け衛生講習会等の開催、啓発媒体の活用等による広報活動の展開等に積極的に取り組み、食の安全性に関する基礎的な知識を有する府民の割合を把握してきました。基礎的な知識は世代により異なるため、それぞれのライフステージに合わせた内容を一緒に考え、参加することで、知識の普及から実践へとつなげるために、リスクコミュニケーション(双方向の意見交換)手法による啓発の実施回数を、平成28年度までに年6回に増やします。 また、リスクコミュニケーションの参加者にアンケート等を実施し、理解度等を把握したうえで、より効果的に実施できるよう努めます。	年2回	年9回	年6回	年6回	【主な取組状況】 ・留守家庭児童会に通う小学1から4年生の児童を対象にした「学童保育の食の安全教室」や、中学生を対象にした食品安全ゼミナールのほか、支援学校の生徒を対象にした「食の安全教室」を実施した。 【今後の方向性】 ・引き続き、それぞれのライフステージに合わせた内容を検討し、過去のアンケート等を参考にしながらより効果的なリスクコミュニケーションを行う。	●食品安全ゼミナール ●食の安全教室「みんなで実践！衛生対策！」 ●食の安全安心体験学習会 「食品表示 ～しっかり読んで楽しく買い物～」 ●食の安全教室「学童保育の焼肉教室」 ●食の安全安心シンポジウム「食品添加物ってどんなもの？」 ●食品衛生啓発キャンペーン ◎【関西】外食ビジネスウィーク2015において、食の安全安心普及啓発、異物混入防止対策等講習会 ◎おおさか食育フェスタ2015において、食中毒予防普及啓発 ◎ファベックス関西2015において、食の安全安心普及啓発 ◎大阪府消費者フェア2015において、正しい手洗い方法の啓発 ○食の安全安心啓発ポスター・標語コンクール(公益財団法人大阪食品衛生協会) ●児童福祉施設関係者研修会	

「第2次大阪府食育推進計画(平成24年3月策定)」 現状値及び平成27年度取組状況

目標項目		目標項目の詳細	策定時 (H23年度)	H26年度 ※()は参考値	現状値 (H27年度)	目標値 (H28年度)	H27年度の主な取組状況、今後の方向性等 (「下線あり」は新規取組)	関連施策、主なイベント ●:府事業、◎府と関係団体連携事業、○関係団体事業	
行政や関係団体 が中心となつて 取り組む目標	10	大阪産(もん)の認知度の向上による地産地消の推進	46.2%	60.7% ※26年3月末	57.0% ※H27年3月末	60%	<p>【主な取組状況】</p> <p>大阪産(もん)PRイベントや関係団体のイベント会場に大阪産(もん)加工品を展示、来場者にパンフレット等を配布し、大阪産(もん)をPRした。</p> <p>【今後の方向性】</p> <p>食育関連イベントには食に関心の深い方が来場されており、積極的にPRすることで、大阪産(もん)の認知度向上と率先購入につなげていく。</p>	<p>●大阪産(もん)PRイベントの実施</p> <p>◎食と防災シンポジウム2015「備えてまっかー!まさかの時の食-4」</p> <p>◎「マジごはんbyOSAKA“ちゃんと食べよか〜”」推進プロジェクト食育ヤングリーダーフォーラム</p> <p>◎第13回魚庭の海づくり大会</p> <p>◎第2回大漁いわしとしらすの親子祭(大阪府鹽巾着網漁業協同組合)</p> <p>◎第13回りんくうタコカーニバル(りんくう沿岸漁業振興連絡会(りんくう5協:樽井漁業協同組合、北中通漁業協同組合、田尻漁業協同組合、泉佐野漁業協同組合、岡田浦漁業協同組合))</p> <p>◎第5回深日漁港ふれあいフェスタ(深日漁業協同組合、岬町商工会)</p> <p>◎リーフレット「魚庭の魚」「おさかなは元気食」配布(公益財団法人大阪府漁業振興基金)</p> <p>◎食育推進助成事業 体験漁業(地曳き網体験)等(公益財団法人大阪府漁業振興基金)</p> <p>◎食育推進共同事業(親子料理教室)(公益財団法人大阪府漁業振興基金)</p> <p>◎食育推進助成事業(公益財団法人大阪府学校給食会)</p> <p>◎学校給食献立講習会(公益財団法人大阪府学校給食会)</p>	
	11	推進計画を策定している市町村の割合	44.0% ※市町村報告数(H24年3月)	82.9% ※市町村報告数(H27年3月)	87.8% ※市町村報告数(H28年3月)	100%	<p>【主な取組状況】</p> <p>・計画未策定の市町村に対し、計画に基づく施策の推進を求めるとともに、策定にかかる支援を実施。</p> <p>【今後の方向性】</p> <p>・計画未作成の市町村には引き続き支援を行う。</p> <p>・今後策定予定のない市町村については、計画策定同様の食育施策により食育の推進を図っていることから、府3次計画では目標指標として設定しない予定。</p>		
	12	「食に関する指導」の推進体制が整備されている小・中学校の割合	学校における食育を推進するには、組織的・計画的に教育活動を展開することが重要であることから、各学校における「食に関する指導」を推進する役割を担う「食育推進委員会」などの校内委員会を組織し、校務分掌に位置付けるなど校内組織を充実させる必要があります。そのため、「食に関する指導」を推進するための組織を明確にしている小・中学校の割合を、平成28年度までに100%にすることを目指します。	76.4%	92.5%	94.6%	100%	<p>【主な取組状況】</p> <p>・「市町村教育委員会に対する指導・助言事項」において校内体制の整備を示すとともに、会議や学校訪問時に市町村教育委員会に対して指導した。</p> <p>・校内体制整備状況調査を実施し、整備が完了していない市に対し指導した。</p> <p>・研修会や研究協議会において教員の意識向上を図った。</p> <p>【今後の方向性】</p> <p>・引き続き市町村教育委員会に対し指導するとともに、研修会等を通じて教員の意識向上を図る。</p>	<p>●大阪府中学校給食導入促進事業</p> <p>●新規採用栄養教諭研修、栄養教諭10年経験者研修、栄養教諭・学校栄養職員研修、学校における食育研修、学校給食・食育研究協議会等の実施</p> <p>●栄養教諭の配置</p> <p>●スーパー食育スクール事業</p> <p>◎野菜バリバリ朝食モリモリ元気っ子ポスターコンクール</p> <p>◎おおさか食育フェスタ2015の開催</p> <p>◎栄養教諭支援セミナー(公益財団法人大阪府学校給食会)</p> <p>◎食育授業作りグループ別指導(公益財団法人大阪府学校給食会)</p> <p>◎食育講演会(公益財団法人大阪府学校給食会)</p> <p>◎おおさか学校給食献立コンテスト(公益財団法人大阪府学校給食会)</p> <p>◎おおさか食育フェスタ2015の開催(公益財団法人大阪府学校給食会)</p> <p>◎食育推進助成事業(公益財団法人大阪府学校給食会)</p> <p>◎出前パン作り教室(公益財団法人大阪府学校給食会)</p> <p>◎学校給食献立講習会(公益財団法人大阪府学校給食会)</p>
	13	「うちのお店も健康づくり応援団の店」協力店の数	大阪府では、府民の健康づくりに役立つよう、メニューの栄養成分や食事バランスガイドの表示、ヘルシーメニュー(野菜たっぷりメニュー等)の提供などを推進する「うちのお店も健康づくり応援団の店」協力店を、平成23年度までに10,000店舗にすることを目指し、取組をすすめてきました。今後は、協力店の取組の充実を図るとともに、平成28年度までに協力店を12,000店舗にすることを目指します。	10,232店舗 ※H24年2月末	11,162店舗 ※H27年2月末	12,358店舗 ※H28年2月末	12,000店舗	<p>【主な取組状況】</p> <p>・府、政令・中核市、外食産業と連携し、オール大阪で新規協力店の増加を図った。また、健康的なV. O. Sメニュー推進事業を通じて新規協力店の増加を図った。</p> <p>【今後の方向性】</p> <p>・セブンイレブン約1000店舗の登録により目標値を達成。今後もオール大阪で登録店の増加を目指す。</p> <p>・府3次計画では、協力店舗数の増加に加え、お店の利用を促進するため府民の認知度についても目標指標として設定予定。</p>	<p>◎「うちのお店も健康づくり応援団の店」協力店の推進</p> <p>◎ヘルシーメニュー人気コンテスト</p> <p>◎ヘルシー外食フォーラム</p> <p>◎「マジごはんbyOSAKA“ちゃんと食べよか〜”」推進プロジェクト食育ヤングリーダーフォーラム</p>